

未来を創る子ども応援事業助成金に係る宝くじ広報表示マニュアル

1 宝くじ広報表示の目的

未来を創る子ども応援事業助成金は、サマージャンボ宝くじ（市町村振興宝くじ）の収益金を原資として、市町村が実施する各種研修等事業に対して助成金を交付しています。

しかし、近年は宝くじの販売額が低迷していることから、本助成制度の維持・継続には、安定的な収益金の確保に向け、宝くじ購買者である地域住民の理解の促進を図ることが極めて重要です。

このため、本助成金の交付を受けて実施する事業については、事業実施主体である市町村や実行委員会等が、広報資材や研修資料等の印刷物にサマージャンボ宝くじの広報宣伝を記載する旨を、未来を創る子ども応援事業助成金交付要綱（以下「交付要綱」という。）で規定しています。

2 広報表示の例文

申請事業の実施形態等を勘案し、適した例文を使用してください。（フォント指定はありません）

【例文1】※推奨

この事業はサマージャンボ宝くじの収益金を活用して実施しています。

【例文2】

この事業は公益財団法人北海道市町村振興協会（サマージャンボ宝くじの収益金）の助成を受けて実施しています。

【例文3】

サマージャンボ宝くじの収益金は、市町村の明るく住みよいまちづくりに活用されています。

3 広報表示の記載対象

参加者等に効果的に広報することができるよう、ポスターやパンフレット、研修資料、研修報告書等の印刷物の分かりやすい位置に広報表示を必ず記載してください。

なお、市町村が発行する広報誌等で事業を紹介する際には、事業成果品と同様に例文及び宝くじマスコット「クーちゃん」の表示を必ず記載してください。

4 宝くじマスコット「クーちゃん」の表示について

上記例文とともに、宝くじマスコット「クーちゃん」（A又はB）を必ず表示してください。

- ◆ いずれもカラーで使用する場合は、画像データの色を改変しないこと
- ◆ サイズを変更する場合は、縦横比率を改変しないこと
- ◆ 最小使用サイズは 20mm とすること（印刷物のサイズやレイアウト、成果品の素材等の事情により、物理的・経費的にやむを得ないと判断される場合は、その限りではない）。



パターンA



パターンB

※ 画像データは、助成申請時の様式データ集に添付しています。

5 助成決定前に実施する事業について

助成決定前に事業に着手する等、当協会がやむを得ないと判断する事情により、例文1又は2の表示を行うことができない場合には「例文3」の表示を記載してください。

6 サマージャンボ宝くじ広報表示に係るQ&A

Q1：広報表示を行わなかった場合はどうなるのか。

A1：本助成金は、サマージャンボ宝くじの収益金を原資として、市町村が実施するソフト事業を対象に交付しています。正当な理由がなく、広報表示を行わなかった場合、助成金を交付しない場合があります。また、次年度以降の助成申請も不採択とする場合があります。

Q2：すべての成果品に広報表示は必要なのか。

A2：すべての成果品に表示する必要はありませんが、事業参加者に対して、最も効果的にサマージャンボ宝くじの広報宣伝を行うことができると考えられるものに表示してください。

Q3：「サマージャンボ」を略して「宝くじ」だけの表示でもいいのか。

A3：不可。「サマージャンボ宝くじ」と表示してください。

Q4：他の団体（企業）からも助成金（協賛金）の交付を受けている。サマージャンボ宝くじだけの広報表示はできない。

A4：本助成金を活用して事業を実施する場合、例外なく広報表示が必要であり、例外は認めない。

Q5：サマージャンボ宝くじの販売は営利事業ではないのか。営利事業の広報宣伝はできない。

A5：営利事業ではありません。発売収益金は市町村の振興を支援する事業に活用しています。

Q6：他の宝くじ（年末ジャンボ宝くじ等）のPRはしなくてもいいのか。

A6：本助成金を活用して事業を実施する場合は「サマージャンボ宝くじ」のPRをお願いします。

Q7：印刷物等の目立たない場所（奥付等）に記載さえしてあれば問題ないのか。

A7：広報表示には該当しないと判断し、上記A1と同様の取扱いをする場合があります。